2025 年 8 月 15 日

各 位

株式会社北洋銀行

お客さま 25 社と「サステナブル経営支援ファイナンス」【目標選択型】の契約を締結しました

北洋銀行（取締役頭取 津山 博恒）は、お客さまのサステナブル経営を支援しています。
今般、2025 年 7 月に、下記の通り、お客さま 25 社と「サステナブル経営支援ファイナンス」【目標選択型】の契約を締結しました。本ファイナンスは、持続可能な経営の実践に向け、北海道の SDGs 推進ビジョン等に整合した目標設定と、社会価値創出のストーリー発信をサポートするご融資です。
近年、社会的にサステナビリティへの取り組みに対する関心が高まっており、企業イメージの向上や新たな事業機会の創出につながることから、多くの企業がサステナブルな事業活動を推進しています。
当行は今後も、ほくようサステナブルファイナンス等を通じ、北海道を営業基盤とする金融機関として環境・社会問題に前向きに取り組むお客さまを支援してまいります。

記

サステナブル経営支援ファイナンス【目標選択型】ご契約企業の概要（五十音順）

会 社 名	株式会社アンドセレクト
代 表 者	渡邊 光 様
所 在 地	北海道札幌市西区二十四軒2条4丁目6番23号

会 社 名	株式会社笈口工業
代 表 者	笈口 和嘉 様
所 在 地	北海道伊達市竹原町25－4番地

会 社 名	株式会社オイル・リサイクル
代 表 者	前田 慎一 様
所 在 地	北海道札幌市白石区北郷2405番地27

会 社 名	株式会社協栄車輛
代 表 者	佐藤 文彦 様
所 在 地	北海道札幌市白石区北郷2405番地25

2025年8月15日

サステナブル経営支援ファイナンス【目標選択型】ご契約企業の概要(五十音順)

会社名	幸洋土建株式会社
代表者	今　靖幸　様
所在地	北海道札幌市北区篠路町拓北25－39

会社名	株式会社献
代表者	藤田　献　様
所在地	北海道札幌市中央区南2条西26丁目3－3

会社名	有限会社佐藤室内装飾
代表者	佐藤　卓也　様
所在地	北海道北見市西三輪1丁目641番地43

会社名	株式会社ジョイネット
代表者	川邊　慎也　様
所在地	北海道札幌市北区北7条西2丁目6番地

会社名	株式会社スクリーン企画
代表者	大髙　靖誠　様
所在地	北海道北見市川東385－24

会社名	株式会社スマイル
代表者	木浪　江里子　様
所在地	北海道札幌市手稲区前田10条15丁目5－14

会社名	株式会社ソイル・ONE
代表者	日沼　史年　様
所在地	北海道札幌市西区発寒12条13丁目2番1号

会社名	株式会社ダイゼン
代表者	村田　望　様
所在地	北海道北見市東相内町17番地111

2025年8月15日

サステナブル経営支援ファイナンス【目標選択型】ご契約企業の概要（五十音順）

会　社　名	株式会社舘野建材
代　表　者	舘野　健太　様
所　在　地	北海道江別市野幌住吉町29－53

会　社　名	株式会社トーラス
代　表　者	山根　響　様
所　在　地	北海道北見市無加川町409番地8

会　社　名	日測技研株式会社
代　表　者	木村　直樹　様
所　在　地	北海道札幌市中央区南19条西16丁目3番1号

会　社　名	株式会社ファーストマインド
代　表　者	杉山　俊征　様
所　在　地	北海道札幌市中央区南14条西18丁目1－5

会　社　名	株式会社 Fusion
代　表　者	樋口　浩一　様
所　在　地	北海道札幌市中央区大通西6丁目10番地

会　社　名	株式会社ベストアーク
代　表　者	久末　則子　様
所　在　地	北海道札幌市中央区北2条東1丁目3－3　アルファ北2条ビル8階

会　社　名	株式会社北成通信社
代　表　者	黒川　篤　様
所　在　地	北海道札幌市中央区南4条西6丁目8番地

会　社　名	特定非営利活動法人北海道こども発達研究センター
代　表　者	木村　正剛　様
所　在　地	北海道札幌市手稲区稲穂2条8丁目8番5号

2025年8月15日

サステナブル経営支援ファイナンス【目標選択型】ご契約企業の概要（五十音順）

会　社　名	株式会社ホリケンラボ
代　表　者	堀内　健一　様
所　在　地	北海道苫小牧市矢代町1丁目2－33

会　社　名	有限会社マークス
代　表　者	京塚　啓司　様
所　在　地	北海道北見市小泉419番地14

会　社　名	株式会社丸分豊田ホールディングス
代　表　者	豊田　哲彰　様
所　在　地	北海道札幌市中央区南1条東5丁目7番地15

会　社　名	株式会社緑苑
代　表　者	福本　照是　様
所　在　地	北海道石狩市緑苑台東3条2丁目170－2

会　社　名	株式会社ワイズテクニクス
代　表　者	本間　豊　様
所　在　地	北海道札幌市東区東雁来3条1丁目3－13

以　上

株式会社アンドセレクト
Sustainability Commitment

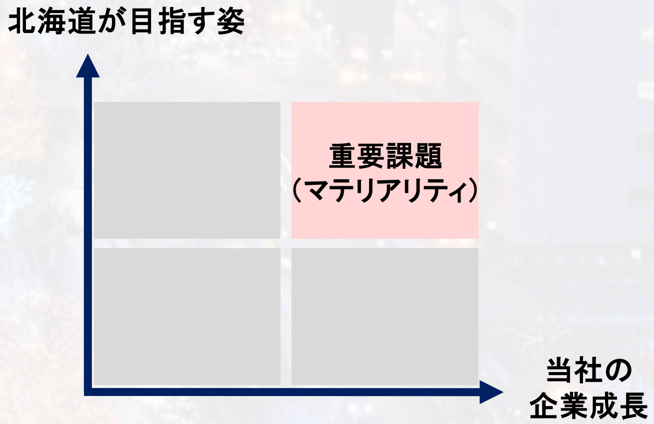
2025年7月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社笈口工業
Sustainability Commitment

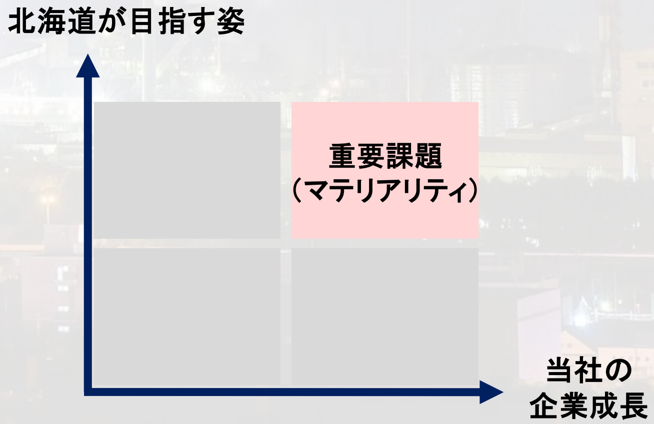
2025年7月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社オイル･リサイクル
サステナブル経営支援ローン
評価レポート

評価日：2025年7月10日

株式会社北洋銀行
北十五条支店

1.　基本情報

企業名	株式会社オイル･リサイクル	
代表者名	前田　慎一	
所在地	北海道札幌市白石区北郷2405番地27	
資本金	100万円	
従業員	8名（2025年7月現在）	
業種	廃棄物処理業	
事業内容	廃食油を回収し、BDFやSAFの原材料として販売	
沿革	2012年	株式会社白老油脂札幌として設立（資本金100万円）
	2016年	株式会社白老油脂札幌の株式を前田慎一氏が取得し、株式会社オイル･リサイクルに社名変更
	2017年	前田　慎一氏が代表取締役に就任

2.　事業の存在意義

事業の存在意義

私たちの仕事は、地球のエネルギーを再利用するために必要なセクションです。

株式会社オイル･リサイクルは、廃食油の回収および再資源化を通じて、脱炭素社会と資源循環の実現に貢献している企業である。特に、家庭系廃食油の効率的な回収スキームを独自に構築し、札幌市をはじめとする複数自治体と連携しながら、先進的な地域循環モデルを展開しているのが特徴である。株式会社オイル･リサイクルのビジネスは、単なる事業活動にとどまらず、脱炭素社会の実現に向けた重要な役割を担っている。

3. 事業概要

株式会社オイル・リサイクルは BDF（Bio Diesel Fuel）や SAF（Sustainable Aviation Fuel）といった再生可能エネルギーの生産に不可欠な、廃食油の回収および販売を行う企業である。

BDF とは、バイオディーゼル燃料の略称で、廃食油などを原料とするディーゼルエンジン用の代替燃料のことであり、使用済みの天ぷら油などの廃食油を精製し、ディーゼルエンジンで使用できるようにしたものである。限りある化石燃料の消費を抑え、エネルギーの安定供給に貢献するほか、原料が植物由来であるため、大気中の CO2 を増加させない「カーボンニュートラル」な燃料としてトラック、重機、発電機、ボイラーなど、軽油を使用する様々な機器で利用可能となっている。

SAF とは、持続可能な航空燃料の略称で、従来の化石燃料由来のジェット燃料に代わる、環境負荷の少ない航空燃料である。廃食油や藻類、木くずなどを原料としており、従来のジェット燃料と比較して、生産から燃焼までのサイクルで二酸化炭素排出量を大幅に削減できるため、カーボンニュートラル実現に向けた切り札として注目されている。日本でも、SAF の導入促進に向けた官民協議会が開催されており、国産 SAF の開発・製造の推進や、石油元売り事業者と航空会社との連携などが進められていることから、いずれも脱炭素社会の実現に欠かせない燃料として、技術開発や社会実装が期待されている。

■スーパーなどに設置されている廃油回収 BOX

■回収した廃油を自社で精製している様子

出所：株式会社オイル・リサイクル　提供資料

廃食油の回収エリアは札幌市をはじめ、小樽、石狩、江別、恵庭、北広島等の自治体との協働体制が確立されており、各市の公共施設やスーパーマーケット等に廃油回収ボックスを設置し、自社のトラック 5 台で回収業務を行っている。事業系および家庭由来の廃食油を合わせて月間約 70 トン回収しており、回収した廃食油は自社で精製し、バイオマス燃料の原料として国内外に供給している。国内においては、道路建設及び舗装工事業者や水産事業者などに対して、ボイラー燃料として販売している。また、海外においては SAF の原料として韓国やマレーシアなどへ輸出を行っている。北海道油脂事業協同組合の資料によると、札幌市における植物油の年間販売量は約 6,724 トンであり、理論上の回収可能量は約 1,681 トンと推計される。しかし、現時点での実際の回収量は年間約 192 トン（回収率 11.4％）にとどまっており、家庭系廃食油の回収には大きな成長余地がある。こうした状況を鑑みると、株式会社オイル・リサイクルの更なる活動拡大は、環境負荷の低減だけでなく、地域住民の意識向上や自治体施策との親

和性という観点からも、きわめて有意義であると考えられる。また市民のリサイクル意識の向上にも寄与しており、単なる廃棄物処理ではなく、「参加型リサイクル社会」の形成に向けた実効的な取り組みを実施している点は、地域社会の持続可能な取り組みにも貢献している。

株式会社オイル・リサイクルの事業は、再生可能エネルギー原料の安定供給という観点から、脱炭素社会の構築に直結するものである。特に、使用済み食用油を適切に回収・再利用することで、廃棄物の削減のみならず、温室効果ガスの排出抑制に貢献しており、資源循環型経済の中核を担う存在である。また航空業界が脱炭素化を進める中で、株式会社オイル・リサイクルは SAF の原料供給元としての役割は今後ますます重要性を増すことが予想される。

■精製した廃食油を再製品化

■再製品化したものを各地域へ出荷

出所：株式会社オイル・リサイクル　提供資料

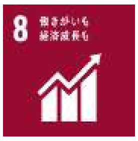
4.　サステナビリティ目標

株式会社オイル・リサイクルの更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、株式会社オイル・リサイクルの事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画（2024）」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、株式会社オイル・リサイクルのプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重　要　課　題	**脱炭素社会実現への貢献**
目　標　・　ＫＰＩ	①　温室効果ガス排出量の可視化を実施する。 ②　温室効果ガス排出量を 2030 年まで毎年 2.7%以上削減する。
関連する SDGs	

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重　要　課　題	**人的資本経営の推進** **ワークライフバランスの充実**
目　標　・　ＫＰＩ	①　消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。 ②　有給休暇取得率を 70%以上にする。
関連する SDGs	

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任は負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、翻案等を含む）は禁止されています。

株式会社オイル・リサイクル
Sustainability Commitment

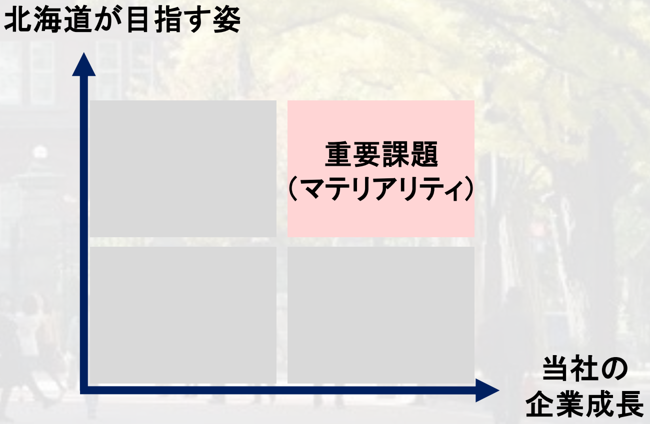
2025年7月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量を2030年まで毎年2.7%以上削減する。
3	人的資本経営の推進	消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。
4	ワークライフバランスの充実	有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社協業車輌
Sustainability Commitment

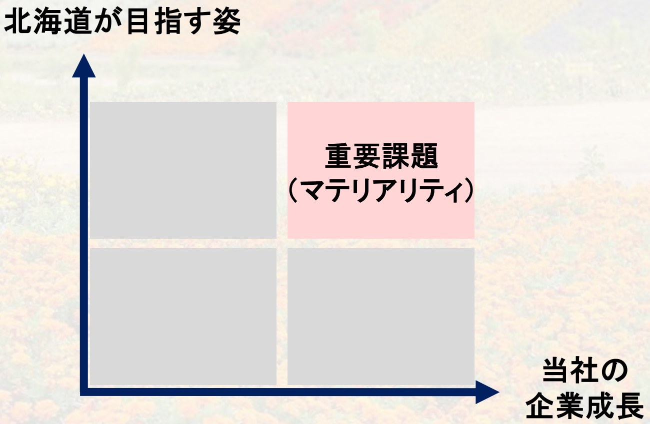
2025年7月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



幸洋土建株式会社

Sustainability Commitment

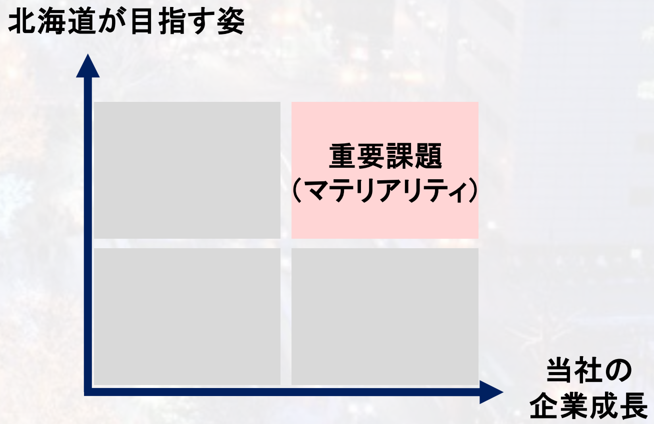
2025年7月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題(マテリアリティ)	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社 献

Sustainability Commitment

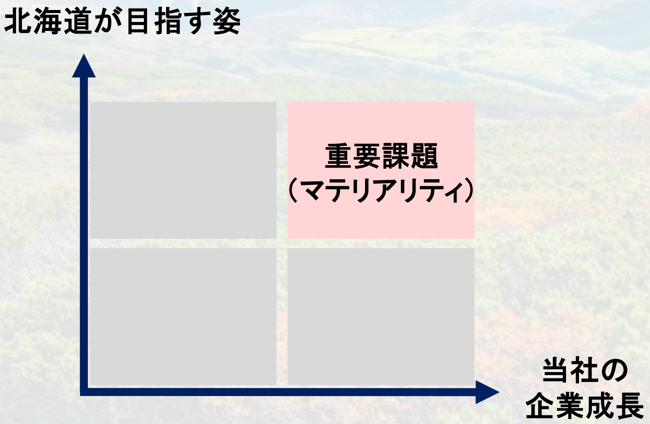
2025年7月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



有限会社佐藤室内装飾
Sustainability Commitment

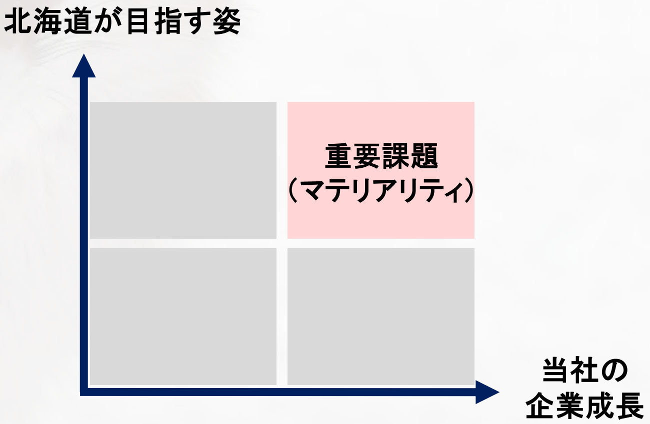
2025年7月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社ジョイネット
Sustainability Commitment

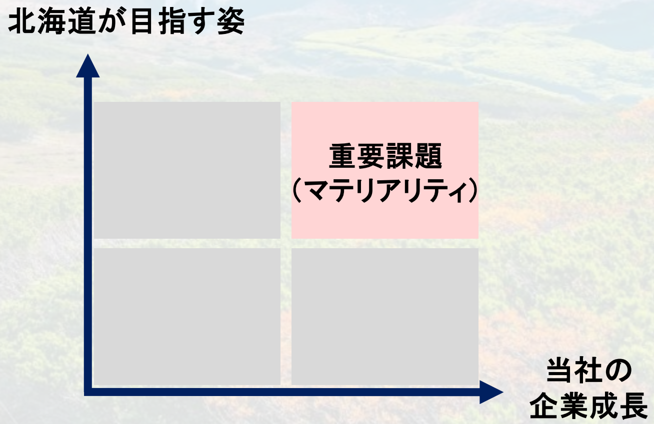
2025年7月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社スクリーン企画
Sustainability Commitment

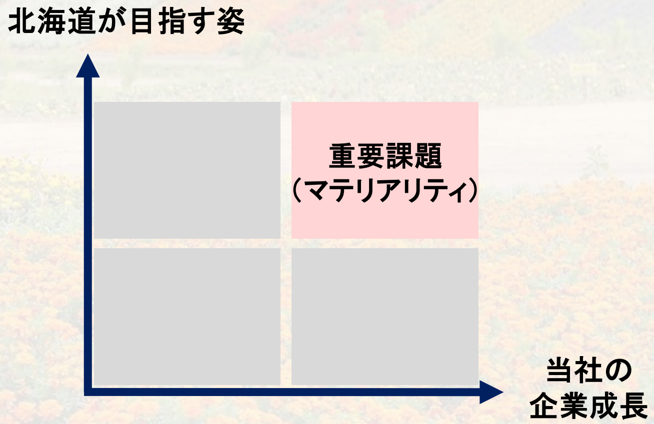
2025年7月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社スマイル
Sustainability Commitment

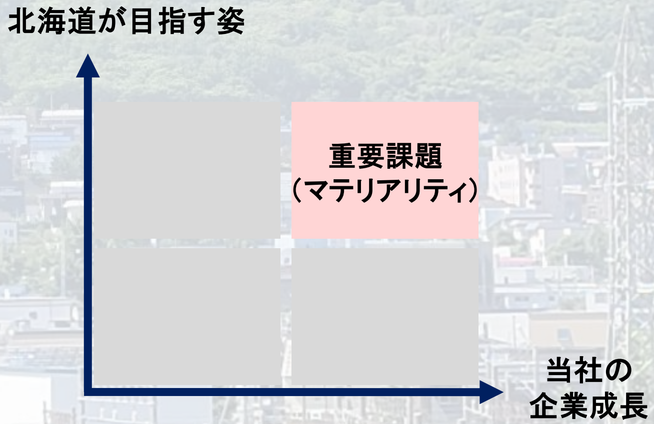
2025年7月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。
3	ワークライフバランスの充実	有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社ソイル・ONE

Sustainability Commitment

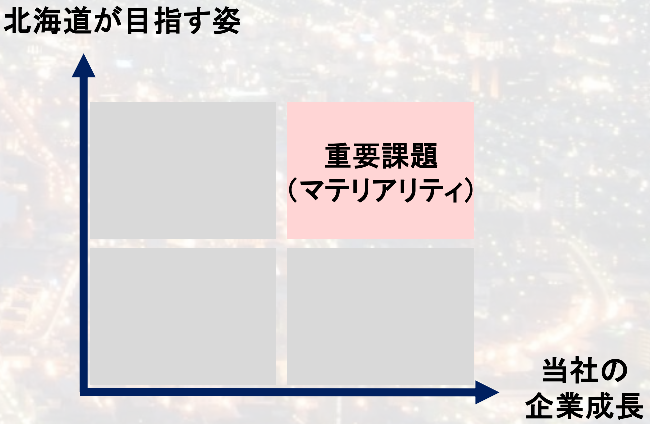
2025年7月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社ダイゼン

Sustainability Commitment

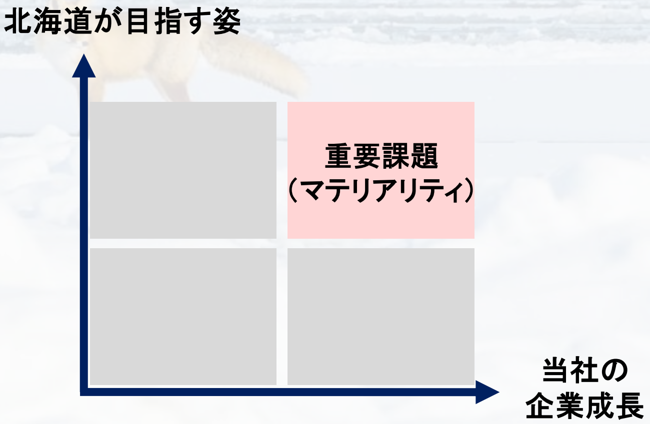
2025年7月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社舘野建材
Sustainability Commitment

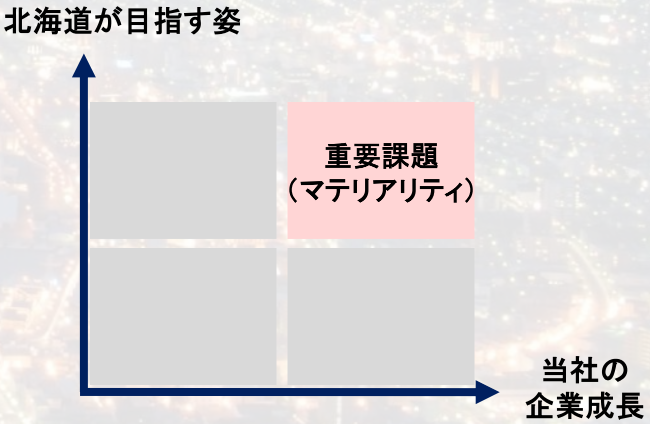
2025年7月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社トーラス
Sustainability Commitment

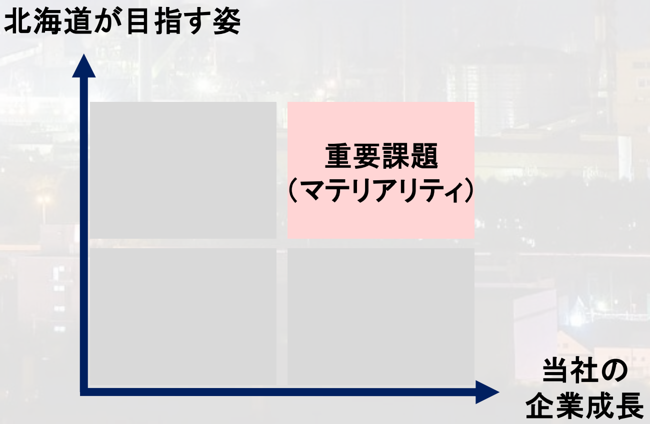
2025年7月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。
3	ワークライフバランスの充実	有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



日測技研株式会社

Sustainability Commitment

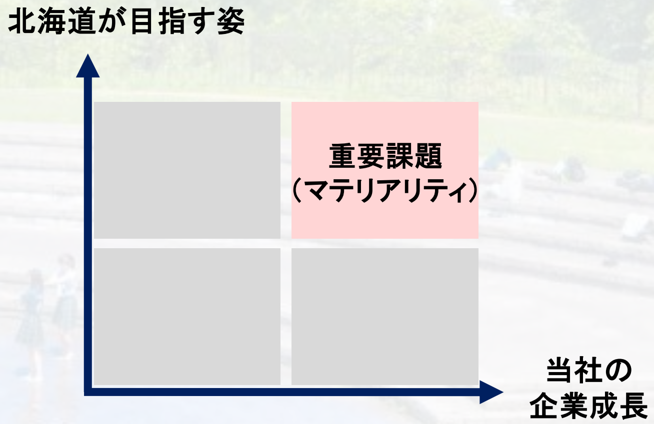
2025年7月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社ファーストマインド
Sustainability Commitment

2025年7月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

株式会社Fusion
サステナブル経営支援ローン
評価レポート

評価日:2025 年 7 月 25 日

株式会社北洋銀行
札幌南支店

1. 基本情報

企業名	株式会社Fusion	
代表者名	樋口　浩一	
所在地	・札幌本社　北海道札幌市中央区大通西 6 丁目 10 番地　エナスクエア大通ビル 8 階 ・札幌開発センター　北海道札幌市中央区大通西 6 丁目 10 番地　大通公園ビル 4 階 ・東京事業所　東京都港区東新橋 2-7-3 BIZMARKS 新橋汐留	
資本金	1,000 万円	
従業員	46 名（2025 年 4 月現在）	
業種	ソフトウェア業	
事業内容	・SES（客先常駐型システム開発） ・ニアショア（ラボ型システム開発） ・自社開発（製品開発）	
沿革	2009 年 7 月	株式会社Fusion設立（資本金 1 万円）
	2015 年 7 月	資本金 1 百万円に増資
	2018 年 2 月	資本金 3 百万円に増資
	2018 年 3 月	東京都港区に事務所開設
	2020 年 3 月	ISMS認証取得
	2020 年 7 月	資本金 10 百万円に増資
	2023 年 5 月	SDGs宣言書　発行
	2025 年 4 月	札幌開発センターを開設

2. 経営方針

経営方針

1.お客様への質の高い仕事の結果を提供し続けること
お客様の期待に応え続け、その結果を上回り続けること
お客様から信頼され求められる存在になること

2.常に一歩先を考え行動すること
相手が何を考え求めているかを常に考え先回りして行動すること

3.Change & Challenge
自分を越えるために挑戦し【技術者】【人】として成長すること
現状に満足せず常に挑戦し変化し続けること

株式会社 Fusion は 2009 年の設立・創業以来、お客様から寄せられる多種多様な要望を形にするため、高い技術力でお客様にとって最善のサービス・商品を提供している。2018 年には東京事務所を開設し、さらなる品質の向上とお客様に寄り添った企業活動を目指し、変化・成長し続けることをミッションとしている。

3.　事業概要

株式会社 Fusion は札幌市中央区に本社を置くソフトウェア業者である。札幌市の他、2018 年より東京都港区にも事業所を構え、経営方針に掲げる通り、お客様より寄せられる多様なニーズに応えられるよう、最善のサービスを提供するため挑戦し続けている。

事業内容は①依頼のあったクライアント企業にエンジニアを常駐させ各種システムの設計や開発業務支援を行う「システムエンジニアリングサービス（SES）」、②クライアント企業からの依頼を受け、自社の開発室からのリモートアクセスによりシステム開発支援や保守関連業務を行う「ニアショア開発」、③自社製品の開発を行っている。一例として直近では宝飾品製造卸メーカー企業などをターゲットとした在庫管理システム「JASMIN」を開発、リリース。

業務の多くにパソコンを用いるため節電などの環境面に対しての配慮が難しい業種でありながら、社内でSDGs について考え実行する委員会を発足し、日中の消灯や、ラベルレスペットボトルの利用など、小さなところから持続可能な社会の実現に貢献する取り組みを行っている。

・自社開発製品「JASMIN B/R」

お客様の「使いやすさ」を追及した設計。付属のコードリーダーやラベルプリンタで感覚的な操作が可能。

出所：株式会社 Fusion　提供資料

株式会社 Fusion は、東京事務所の開設や自社新製品の開発からも分かる通り成長段階にある企業であり、人材の確保から定着が求められる。その中で社員のエンゲージメントを高めるための取り組みとして、SDGs についての勉強会の企画・実施や全社で行う懇親会などを行い組織の活性化を図っている。

2023 年 5 月には SDGs 宣言書を発行。女性管理職の積極的登用などの働きやすい職場づくりをはじめとして SDGs の達成に向けた様々な取り組みを行っていくことを宣言し、自社HPにて宣言書を公開している。

また今後の取り組みとして、貧困に苦しむ国々や環境保護に対しての募金活動・寄付を企画している。

会社全体でのお疲れ様会の様子。
貸切会場にて一年間の仕事の労いと会社の成長を全員で祝った。

出所：株式会社 Fusion　提供資料

4.　サステナビリティ目標

株式会社 Fusion の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、株式会社 Fusion の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画（2024）」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、株域会社 Fusion のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重要課題	**脱炭素社会実現への貢献**
目標・KPI	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに / 13 気候変動に具体的な対策を

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重要課題	**人的資本経営の推進**
目標・KPI	正社員の有給取得率を 70%以上にする。
関連する SDGs	3 すべての人に健康と福祉を / 8 働きがいも経済成長も

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任は負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、翻案等を含む）は禁止されています。

株式会社Fusion
Sustainability Commitment

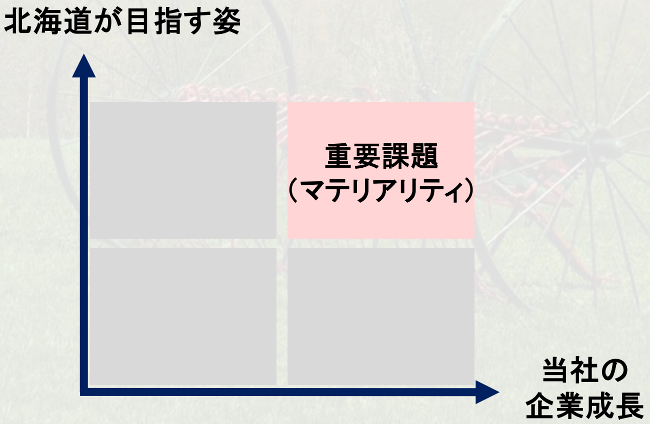
2025年7月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社ベストアーク
Sustainability Commitment

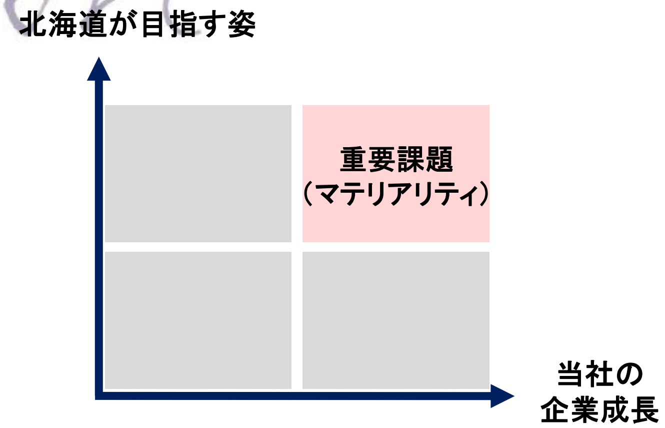
2025年7月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。
3	ワークライフバランスの充実	有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社北成通信社
Sustainability Commitment

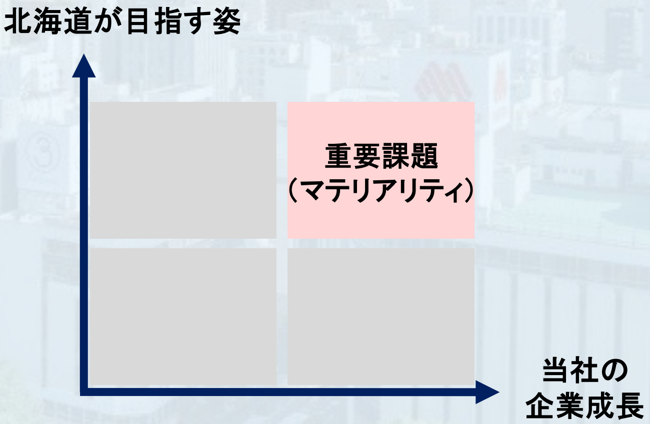
2025年7月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	有給休暇取得率を70％以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



特定非営利活動法人北海道こども発達研究センター

Sustainability Commitment

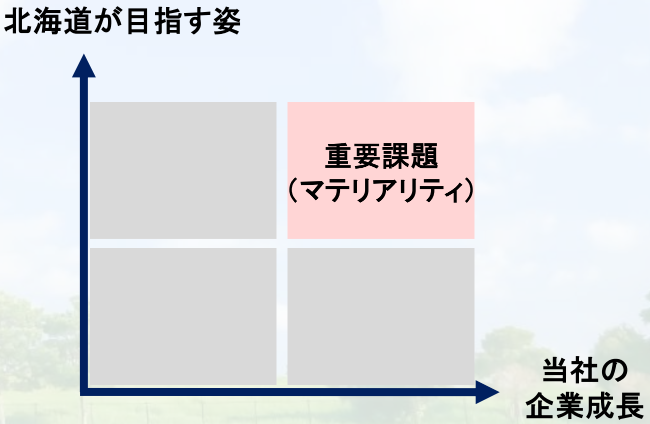
2025年7月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社ホリケンラボ
サステナブル経営支援ローン
評価レポート

評価日：2025 年 7 月 31 日

株式会社北洋銀行
苫小牧中央支店

1. 基本情報

企業名	株式会社ホリケンラボ	
代表者名	堀内　健一	
所在地	本社　　　北海道苫小牧市矢代町 1 丁目 2-33	
資本金	300 万円	
従業員	8 名（2025 年 7 月現在）	
業種	建築業	
事業内容	・　新築工事(木造・鉄骨造) ・　リフォーム工事 ・　不動産売買	
沿革	2014 年	苫小牧市末広町で個人事業として創業
	2016 年	株式会社ホリケンラボ設立(法人成り) 建築士事務所登録し、建設業許可取得
	2019 年	宅地建物取引業免許取得
	2020 年	苫小牧市矢代町に事務所移転

2. 経営理念

経営理念

苫小牧から頼られる「住まいのスペシャリスト」を目指して

株式会社ホリケンラボは創業以来、上記経営理念のもと、経営の最も重要な要素を「人材」と捉え、事業運営を行っている。日々変化が生じる顧客の要望に応えるためには、建築全般の専門的な知識や施工技術力の向上は欠かすことができない。そのため、常に顧客に対する最適なサービスを提供するため、資格取得支援など人材への投資を積極的に実施している。

さらに経営理念に定める「住まいのスペシャリスト」の育成を図るためには、従業員の働きがい向上も重要と考えている。創業時より社員に対する賃金引上げは毎期継続しており、有給休暇の取得推奨や福利厚生の充実など、従業員満足度の向上にも積極的に取り組んでいる。今後も顧客への最適なサービス提供と従業員満足度の向上を両軸とした事業安定化を目指していく。

建設業界では、慢性的な人手不足の深刻化や環境規制の厳格化など様々な課題に直面している。その中で顧客から選ばれるサービスを提供するために、専門的な知識と確かな施工技術を有する職人を確保し、地元の顧客の要望を叶えるための体制づくりを今後も継続していく。

3. 事業概要

ホリケンラボは、苫小牧市に本社を構える建設事業者である。個人住宅を中心に扱いながら、法人向け社宅なども手掛け、新築工事・リフォーム工事の両方を提供している。また、木造・鉄骨造どちらにも対応可能で、倉庫の建築なども受注可能な点に強みを持つ。

当社には施工管理技士、建築士、宅地建物取引士などの有資格者が多数在籍しており、物件建築にかかる打ち合わせの段階から「住まいのスペシャリスト」としての専門的アドバイスと、顧客の希望を踏まえた価格での高品質な家づくりをワンストップで手掛けることができる。そして、施工を手掛ける大工職人とも強固なリレーションを構築し、顧客のニーズに寄り沿った施工プランを提供できる点に強みを有する。

■ **ホリケンラボ 本社**

出所：株式会社ホリケンラボ　提供資料

新築工事

ホリケンラボは、新築住宅のプランニングから設計・施工、アフターサービスまでをワンストップで手掛けている。当社では顧客へのヒアリングを最重視し、「今」だけでなく、家族が増える、子どもが独立するなどの「未来」も想像したプランニングで、長く快適な家づくりを行っている。また、顧客に最適な家づくりを提供するためにモデルルームを保有。モデルルームをもとに実際の住空間を体験しながら将来の生活を具体的にイメージすることで、より良い住まいの提供に繋げている。そして、暮らし続ける中で生じる住まいの不具合などに対しては、迅速なアフターサービスを実施。当社はプランニングから施工、アフターサービスまで顧客に寄り添った対応を一貫することで地域からの支持を集め、創業以来、高い成長を続けている。

リフォーム工事

ホリケンラボは、各種リフォーム工事を手掛けている。リフォーム工事の内容は、手すりの修繕やドアノブの補修、水回り設備の交換、間取り変更まで、規模や種類を問わずあらゆるリフォーム工事を提供している。リフォームにおいても、顧客に真に必要と考えられるリフォームのみを実施するためヒアリングを丁寧に行いながら、住まいのスペシャリストとして顧客のニーズに合ったリフォームプランの提案を行っている。

近年は、北海道でも気温上昇によるエアコンの設置ニーズが増加。設置工事では、家全体の耐久性や劣化防止を第一に考えて、防水性能や断熱処理などを徹底した施工を実施している。今後も、時代の流れに沿ったリフォームのニーズを捉えながら、最適な住環境の提供を目指していく。

■ **モデルハウスの様子**

↑　ホリケンラボ　北光町モデルハウス
シンプルでモダンなモデルハウスで、当社のデザインや技術、ライフスタイルを体験できる。

出所：株式会社ホリケンラボ　提供資料

■ **施工実績（一例）**

出所：株式会社ホリケンラボ　提供資料

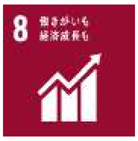
4.　サステナビリティ目標

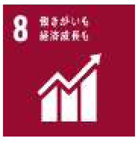
株式会社ホリケンラボの更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、株式会社ホリケンラボの事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げげていくために策定した「北海道総合計画（2024）」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、株式会社ホリケンラボのプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重　要　課　題	**脱炭素社会実現への貢献**
目　標　・　K　P　I	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重　要　課　題	**人的資本経営の推進**
目　標　・　K　P　I	消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。
関連する SDGs	

重　要　課　題	**ワークライフバランスの充実**
目　標　・　K　P　I	有給休暇取得率を 70%以上にする。
関連する SDGs	

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任は負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、翻案等を含む）は禁止されています。

株式会社ホリケンラボ

Sustainability Commitment

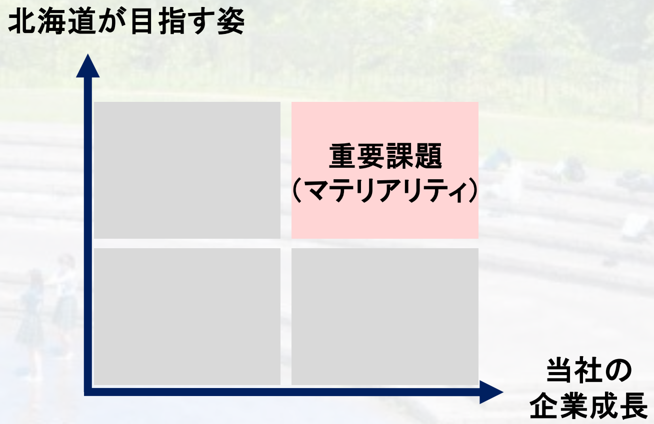
2025年7月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。
3	ワークライフバランスの充実	有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



有限会社マークス

Sustainability Commitment

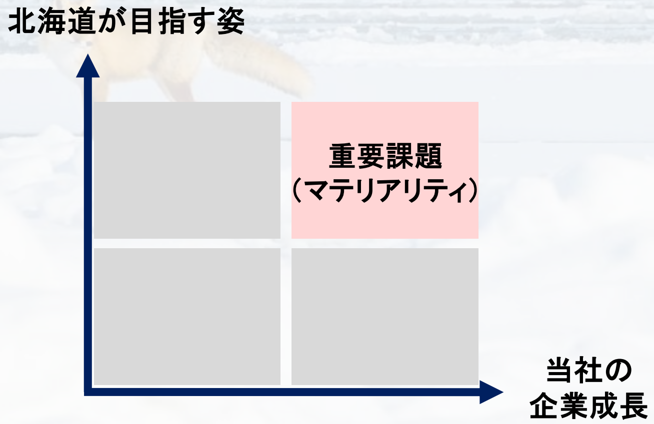
2025年7月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社丸分豊田ホールディングス

Sustainability Commitment

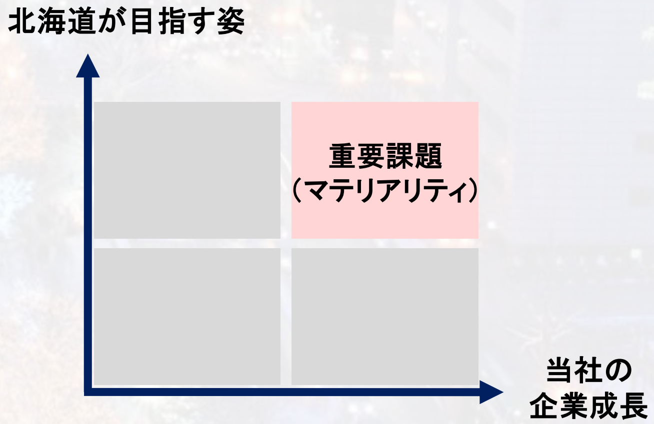
2025年7月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題(マテリアリティ)	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



株式会社緑苑

Sustainability Commitment

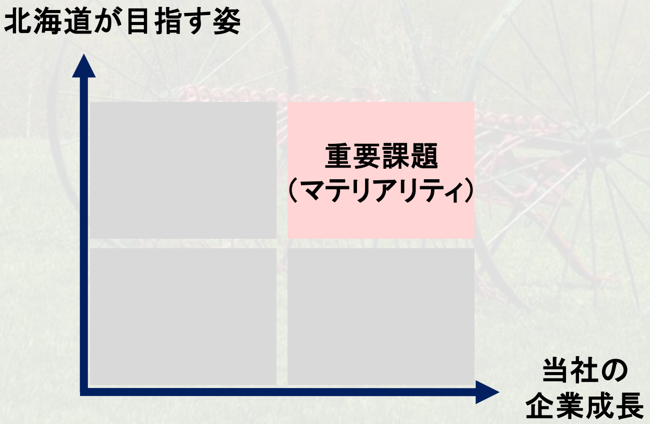
2025年7月

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

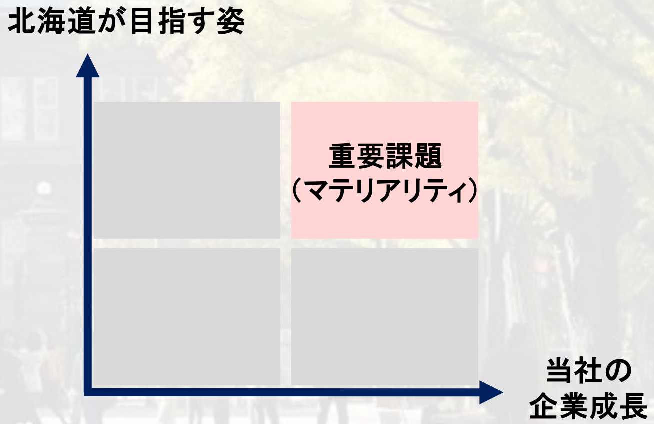


株式会社ワイズテクニクス
Sustainability Commitment

2025年7月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、
以下の企業行動を行うことを誓約します。

	重要課題（マテリアリティ）	目標・KPIs
1	脱炭素社会実現への貢献	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。